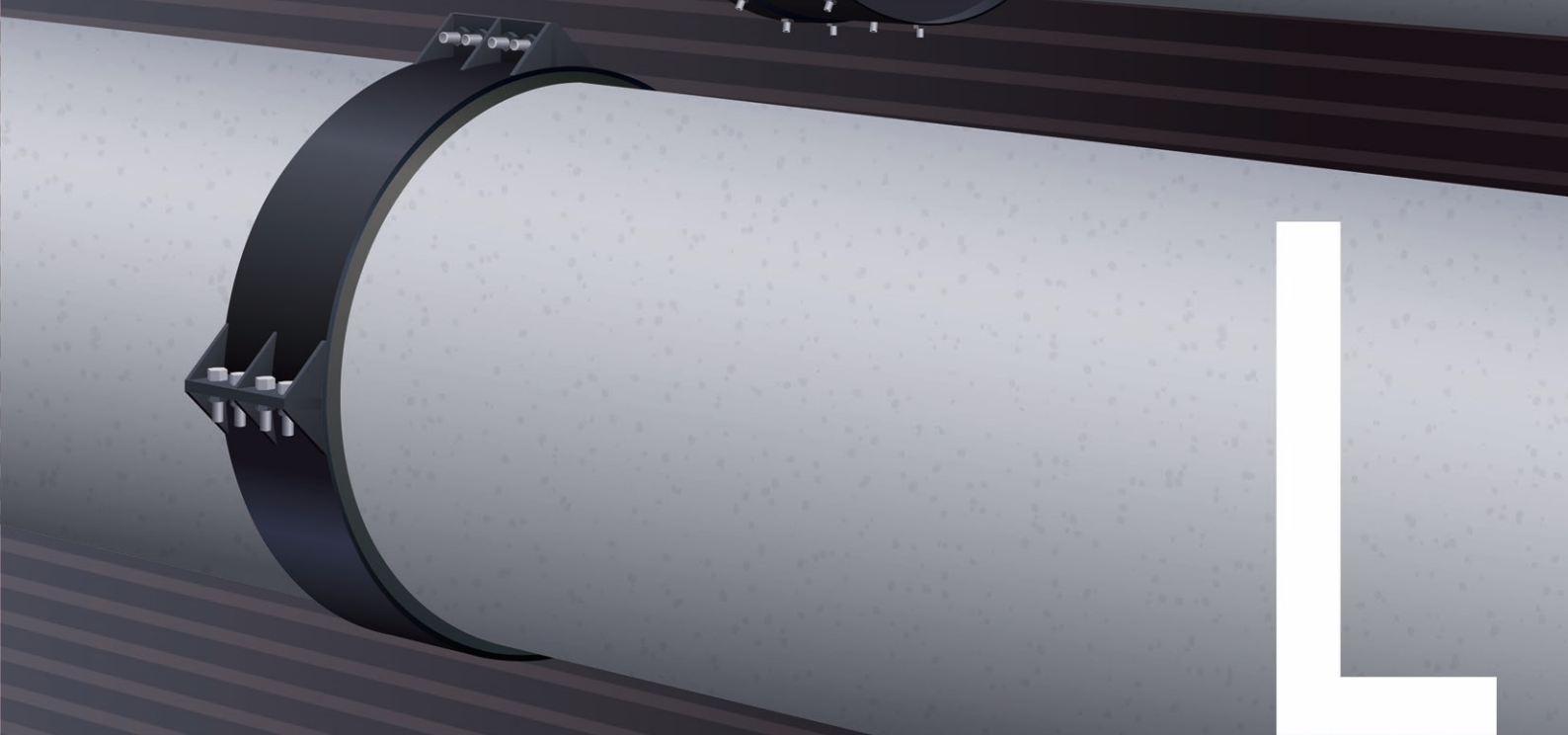
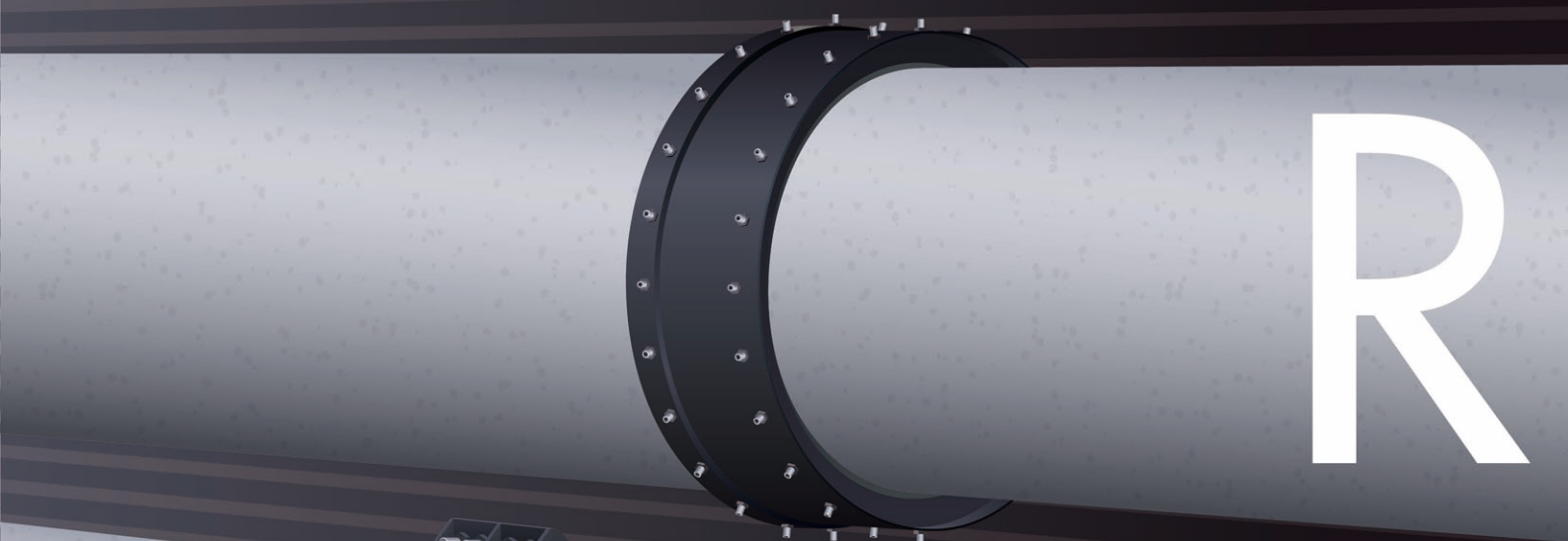


下水道用耐震性継手

管管継手

3つのタイプで
管と管をつなぎます



3つのタイプで 管と管をつなぎます

特 長

- 管と管とを接続する耐震継手。
- 3つのタイプで
あらゆる現場に対応します。
同径・異径・異種・大深度に
3つのタイプで柔軟に対応します。
- 高い施工性
特殊な工具等を使用せずに
短時間で施工できます。
- 高い止水性
各タイプ共に0.2MPaの
水密性能をもちます。

適応範囲

タイプ	サイズ (mm)	接続管径・対応管種
S	150～700	同径・異径・異種管
R	300～3,000	同径・異径管
L	500～3,000	同径・同種管

※他のサイズ・管種についてはご相談ください。

小口径タイプ

異種管に対応します。

性 能

止水性：0.2MPa
可とう性：屈曲変位 5°

大口径タイプ

異径管・
ボックスカルバートに
対応します。

性 能

止水性：0.2MPa
可とう性：屈曲変位 1°以上

大口径タイプ

同径・同種管、
大深度に対応します。

性 能

止水性：0.2MPa
可とう性：屈曲変位 1°以上
拔出し長 67mm

施工前

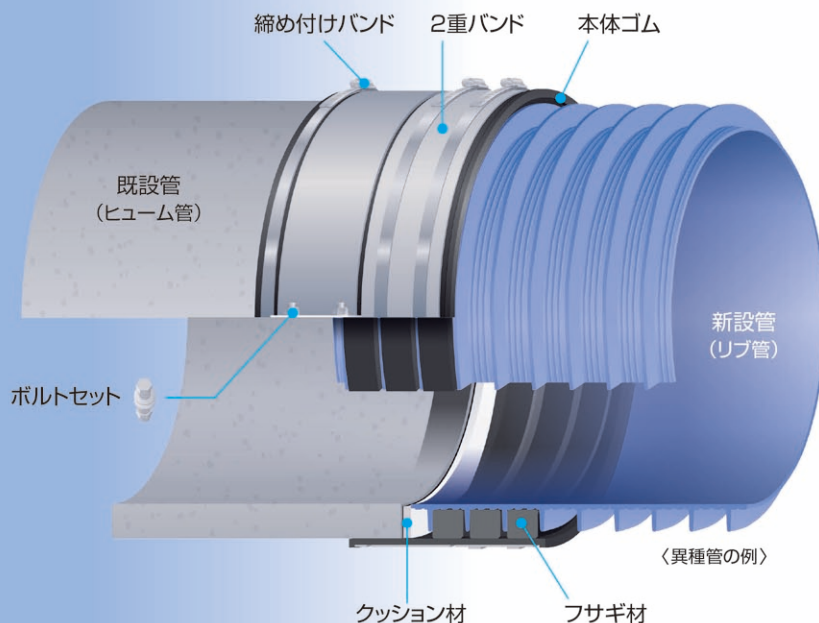
被災により破損したヒューム管を部分撤去し、リブ管を布設しました。

異なる管種に対応します。

施工後

異なる口径・ボックスカルバートにも対応します。

JSWAS A-2に規定する継手性能試験で評価しました。

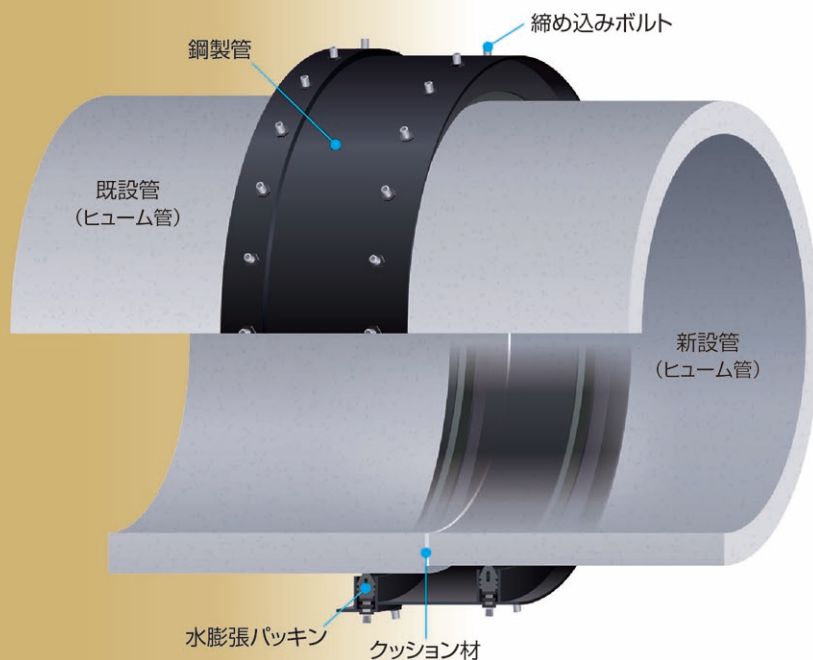


タイプ 施工手順

リブ管とヒューム管の場合

適用範囲

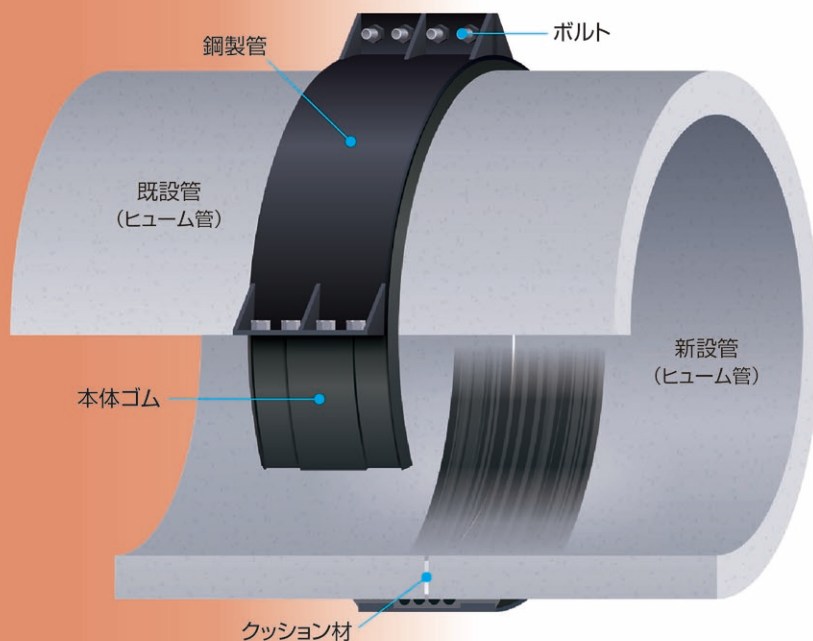
管 種：ヒューム管・陶管・塩ビ管・
リブパイプ・レジンパイプ
管呼び径：ヒューム管 200～700mm
陶管 150～350mm
塩ビ管 100～600mm
リブパイプ 150～450mm
レジンパイプ 200～800mm
の各同径管の組み合わせ



タイプ 施工手順

適用範囲

管 種：推進用ヒューム管
開削用ヒューム管
FRPM管・レジン管
管呼び径：300～3,000mm
異種・異径管可能

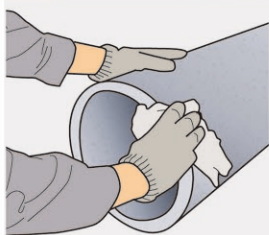


タイプ 施工手順

適用範囲

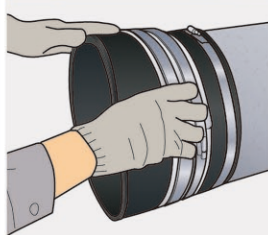
管 種：推進用ヒューム管
開削用ヒューム管
管呼び径：500～3,000mm

1 クッション材の取り付け



既設管を切断し、切断面にクッション材を取り付けます。

2 本体ゴムの取り付け



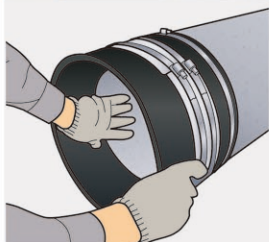
本体ゴム及び締め付けバンド・2重バンドを既設管に預けます。

3 フサギ材の取り付け



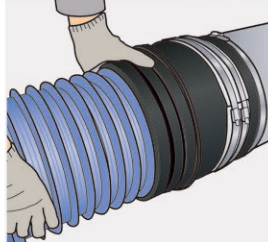
新設管(PRP管)のリブ山にフサギ材を装着します。

4 本体ゴムの位置決め



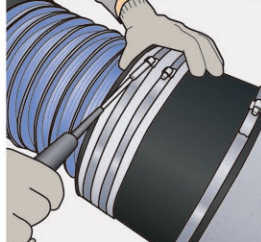
本体ゴムの中心に管端をあわせします。

5 新設管の挿入



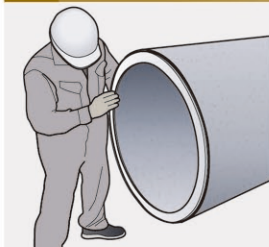
新設管を本体ゴムに挿入します。

6 バンドの締め込み



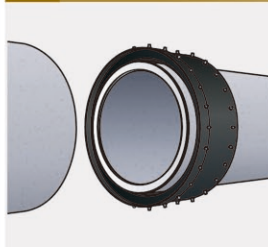
締め付けバンドと2重バンドを、締め込みます。

1 クッション材の取り付け



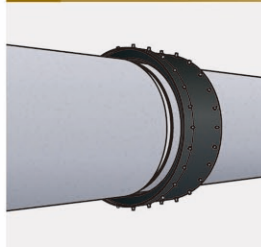
既設管を切断し、切断面にクッション材を取り付けます。

2 本体の取り付け



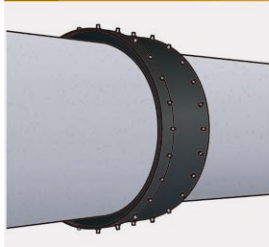
本体を片方の管に取り付けます。

3 管と管を寄せる



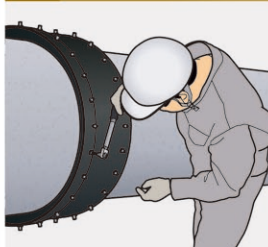
接合面の破損に注意して接続管をつなぎ合わせます。

4 本体の移動



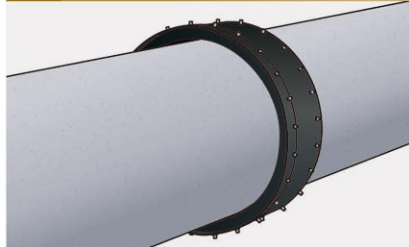
本管の合せ目が中央部になる様に本体を移動します。

5 ボルトの締め込み

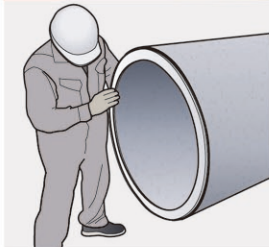


締め込みボルトを規定のトルクで締め込みます。

6 完成

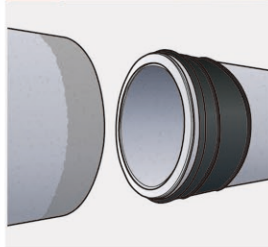


1 クッション材取り付け



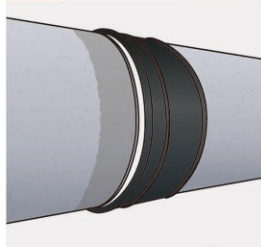
既設管を切断し、切断面にクッション材を取り付けます。

2 本体ゴム取り付け



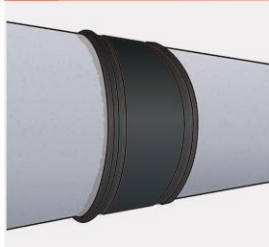
滑剤を塗布し、本体ゴムを片方の管に取り付けます。

3 管と管を寄せる



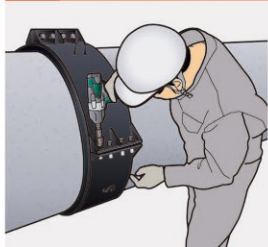
接合面の破損に注意して接続管をつなぎ合わせます。

4 本体ゴムの移動



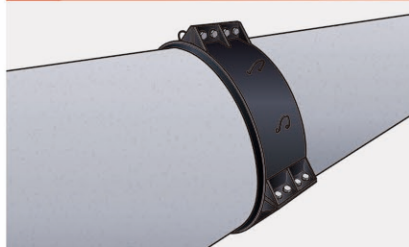
本管の合せ目が中央部になる様に本体ゴムを移動します。

5 鋼製管の取り付け



鋼製管を取り付けボルトを締め込みます。

6 完成



管継手S 水密試験



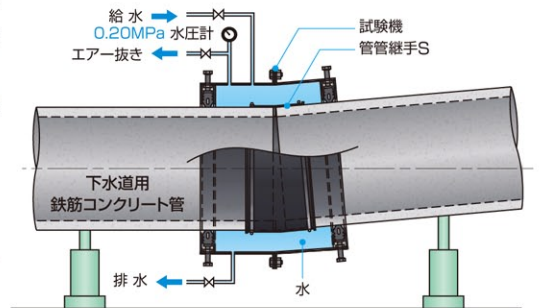
一般財団法人日本品質保証機構による現地確認試験内容は以下の通りです。

1. 試験方法 (試験図参照)

- (1) 下水道用鉄筋コンクリート管φ350と下水道用鉄筋コンクリート管φ350とを管継手を用いて接続し、外水圧試験機を取り付ける。
- (2) 下記の条件で固定する。
 - ・ 屈曲角：5°
- (3) 外水圧試験機に水道水を注入し、水圧を0.20MPaに調節し、3分間保持する。
- (4) 3分間経過した後、管接合部からの漏水の有無を目視にて確認する。

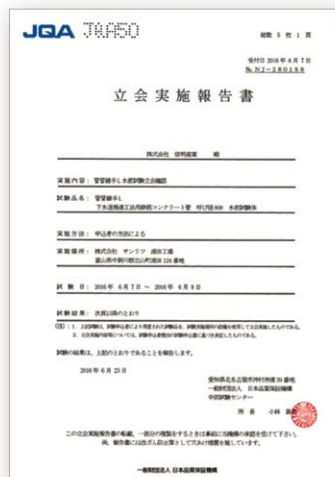
2. 試験結果

- ・ 屈曲角5°を確認。
- ・ 外水圧0.20MPaで3分間保持を確認後、管接合部からの漏水を認めなかった。



管継手S 外水圧試験概要図

管継手L 水密試験



一般財団法人日本品質保証機構による現地確認試験内容は以下の通りです。

1. 試験に使用した試料

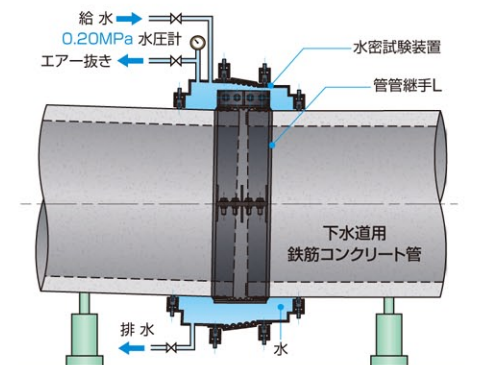
下水道推進工法用鉄筋コンクリート管 呼び径800

2. 試験方法：複合水密試験 (試験抜き出し長：管頂37mm、管底67mm)

管を標準位置に取付け、所定の試験抜き出し長に管を移動して固定し、外水圧0.20MPaで3分間保持し、目視にて接続部の漏水の無いことを確認する。(試験図参照)

3. 試験結果

試験水圧：0.20MPa
保持時間：3分
漏水の有無：漏水なし



管継手L 外水圧試験概要図

SANRITSU 株式会社 サンリツ

■ 本社 〒930-3251 富山県中新川郡立山町上中143番地
Tel.076-462-9325 Fax.076-462-9334
✉ mail@sanritsu.com

■ 技術センター (相談窓口) ☎ 0120-300-635

■ 仙台支店 Tel.022-796-7370 Fax.022-796-7380
■ 関東支店 Tel.048-686-8892 Fax.048-686-8849
■ 北陸支店 Tel.076-462-9328 Fax.076-462-9334
■ 名古屋支店 Tel.0568-71-0699 Fax.0568-71-0944
■ 九州支店 Tel.0942-84-1274 Fax.0942-50-8460
■ 上中工場 Tel.076-463-5813 Fax.076-463-5819
■ 工 事 部 Tel.076-462-0360 Fax.076-462-9329



株式
会社

信明産業

〒143-0006 東京都大田区平和島6-1-1 東京流通センタービル531
Tel.03-3767-4300 Fax.03-3767-4310
✉ kankyo@shinmei-ri.co.jp <http://www.shinmei-ri.co.jp>

■ 大阪営業所 〒561-0822 大阪府豊中市三国1-3-20 サカエビル
Tel.06-6333-2010 Fax.06-6333-2022

■ 新潟営業所 〒954-0214 新潟県長岡市中条新田1402番地
Tel.0256-97-4771 Fax.0256-98-3525